

学科名	建築学科
コース名	
授業科目	高度構造力学
必選	必
年次	3年次
実施時期	後期
種別	講義
時間数	30
単位数	2
担当教員	山田 盛久
実務経験	有
実務経験職種	構造設計
授業概要	不静定構造について、ラーメンの解析を中心に学びます。
到達目標	不静定構造物の構造設計に必要な次の3点を到達目標とする。 ①たわみ・たわみ角について、モールの定理、微分方程式、仮想仕事の原理の3つの方法により求めることができる。②固定モーメント法により、不静定ラーメンの応力図を求めることができる。③崩壊機構、固有周期、応答スペクトルについて理解する。
授業方法	実務との関連を意識しながら、講義と演習を中心に授業を進め理解度を深める。演習では、授業で解説した基本問題についての類題に取り組む。授業の最後に小テストを行ない理解度を確認する。
成績評価方法	授業態度、平常点、期末テストなどを総合的に判断する。
履修上の注意	授業には集中して取り組み、授業ノートを必ずとること。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。マナーについては、日本工学院授業心得（学生用）を守ること。
教科書・教材	計算の基本から学ぶ建築構造力学オーム社、ズバツと解ける！建築構造力学問題集200オーム社

授業計画

第1回	静定と不静定
第2回	不静定構造物の判別式
第3回	モールの定理でたわみを求める
第4回	微分方程式からたわみ曲線を求める
第5回	固定ばりのM図
第6回	不静定ラーメン
第7回	分配モーメント
第8回	固定モーメント法
第9回	固定モーメント法
第10回	仮想仕事の原理
第11回	全塑性モーメント
第12回	崩壊機構
第13回	固有周期
第14回	応答スペクトル
第15回	総まとめ
第16回	期末テスト